週刊 新社会

発行所：新社会党　発行者：栗原 君子
〒104-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-9 京桜興産ビル3F
TEL 03(5643)6002 FAX 03(3639)0150
振り替00140-0-149727 1カ月600円 郵送料1カ月160円

新社会ちば

2007年12月　74号

発行：新社会党千葉県本部
千葉市中央区新千葉2-1-1新千葉ビル401
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
メール sinsya@lily.ocn.ne.jp
ホームページ http://www1.ocn.ne.jp/~nsp/

PAC3を強行配備

デモと集会で抗議

航空自衛隊は11月29日深夜、パトリオットミサイルPAC3を強行配備しました。

これは「住民の理解が必要、地域住民への説明会を開く」との約束を無視したうえ、県や市にも対外発表をしないように指示し、抗議にかけつけた市民を実力で排除するなど、暴挙を積み重ねたものであり、認めることは出来ません。

憲法を活かす会では防衛省などに抗議を、堂本都知事に対してはこうした行動に協力しないよう要請を行ないました。

習志野基地には、これからもPAC3の関連装備が搬入されます。

新社会党は「憲法を活かす会」を中心に「パトリオットミサイルはいらない！習志野基地実行委員会」と協力して行動を続けます。

「憲法を活かす会」からもデモに参加した

意識的に危機感あおる

PAC3は射程距離が10～15km程度です。日本を狙ってミサイルが発射される兆候が見られたら防衛する施設の近くに移動する必要があります。

自衛隊は、防衛省のある市ヶ谷駐屯地や第一師団のある練馬駐屯地を手始めに新宿御苑、晴海ふ頭、お台場海浜公園に移動、発射訓練を行なうとしています。

これまで自衛隊は「国民を刺激しない」ために国民の前では軍隊としての行動を控え密かに軍備を増強してきました。

ところが、これからは「戦争をやるためには国民を軍隊に慣れさせる必要がある」ためと自衛隊を積極的に国民の前に出そうとしています。

そのために、テロの脅威や、「北朝鮮からミサイルがいつ飛んでくるかわからない」等と危機感をあおっています。

デモ隊を威嚇する乱闘服の警察官と戦闘服の自衛隊

黙っていたら、日本各地で警察と自衛隊、（それと右翼）が一体となって、PAC3の移動訓練をする光景が見られるようになってしまいます。

きわめて低い命中率 政治的理由で急きょ配備

多額の費用がかかるPAC3システムですが、命中率は極めて低いものです。

湾岸戦争でのPAC2の命中率は、ごまかしだったことが明らかになっており、AC3も実験の結果、使いものにならないという評価だったのが政治的な理由で急きょ配備されたものです。

発射機に装備するミサイルがPAC2の4発から16発になったことを「狙ってもあたらないから『数撃つちゃ当る』と散弾銃にしたようなもの」とのべている関係者もいます。

それでもPAC3の配備を強行する背景は軍需産業の姿がありました。

ミサイルを作っている三菱重工業は過去5年間だけでも2兆円近い武器を受注し、見返りに40人近い天下りを防衛省から受け入れました。

一億円以上を自民党に献金しています。

三菱重工業の利益を確保するためにPAC3が配備されていると言っても過言ではありません。

パトリオットミサイルPAC3

第一高射群は入間(埼玉)、習志野、武山(横須賀)、霞ヶ浦(茨城）に基地があります。

発射機1基にミサイル16発が装備可能です。ミサイルは1発が5億円もするので第一高射群だけで1000億円以上の費用がかかります。なおPAC3は3回目の改良型という意味です。

抗議行動に参加して

100名近くが抗議の中 深夜に警察・自衛隊に守られ搬入

28日夕方、「明日、午前3時、PAC3の搬入を強行するらしい」との連絡を受け習志野演習場に急行、抗議行動に参加しました。

演習場の入口前では100名近い市民が抗議の声をあげました。警察は実力で排除にかかり、やむを得ず道路の反対側で抗議を続けました。

夜中の2時頃には日の丸を掲げた右翼も押し寄せ騒然となりました。

3時30分ころ戦闘服の自衛隊員と乱闘服の警察官に守られ車列が基地に入っていきました。こうした光景を繰り返さないためにこれから数十倍の市民が抗議行動に参加するよう頑張ります。

囲碁・将棋交流会を開く

囲碁ではプロの指導碁も

千葉県本部は11月10日、第5回囲碁将棋交流会を開催、70名が参加し熱い戦いをくりひろげました。今回は、囲碁の部に小永井8段を招き指導碁も行なわれ、今まで以上に盛り上がりました。交流会の後は、仲間の手作りのトン汁などをかこみながら交流を深めました。

「新社会党と市民のつどい」

日時　1月19日(土)午後5時～7時
場所　京成労働会館
会費　3，000円

お気軽に「労働相談室」へ

今月は22日です

毎月第4土曜日　午後2時～5時
電話　043（221）2525

●左記の労組でも相談を受けています●
東葛ふれあいユニオン　047(370)9393　常時
市原ユニオン　0436（21）5473　第3の土・日

展望

また狼少年がウソをつき始めた。消費税を増税し、その金を福祉にまわすというウソだ。食べるのがやっとという人々や高齢の県民が、民主党も賛成するのだろうかと心配して聞いてくる▼マスコミは「ねじれ国会」という用語を何の疑いもなく乱用し、政治が停滞しているかのように言う。衆参の意見が違うことは二院制の長所であり、この際、大いに論争すべきだろうに、大連立などという始める始末だ▼防衛庁が省に昇格した途端に検察の手が入りながら他人事で、インド洋の給油が最大の政治課題だなどと言っている。習志野基地には周辺住民九十万人を危険にさらす地対空ミサイルが先月二十九日払暁、こっそり持ち込まれた▼何もかも、頬かむりの政治で今年も暮れた。来年は衆院選の年だ。生活にもっと日がさす国にしたい。

頑張ってます 議員団活動 No30

党議員団が新潟市など視察

政令都市移行の問題点や地震災害や豪雨被害の教訓など

原発を視察する自治体議員団

新社会党千葉県自治体議員団は、年に1回の合同視察として10月31日から2日間、新潟市と柏崎市を7人で訪問しました。

今回の視察は①新潟市で政令指定都市に向けた合併の問題点を、②柏崎市で地震災害に対する危機対応を、③そして東電の柏崎刈羽原発の地震被害を中心に行っていました。また、新潟市では開設されたばかりの中央図書館、「ほんぽーと」も見学し、詳しく話を聞きました。

政令指定都市に向けた自治体合併構想は、東葛地区と船橋市を含んで2つの動きが一部重なりあいながら、中でも市川市と船橋市が中心となる動きが現実性を帯びています。

新潟市は今年4月に政令指定都市に移行したので、その移行準備や移行後の収入や支出を具体的に学んできました。

柏崎刈羽原発は廃炉にすべき

柏崎市は3年前の豪雨被害を受け、この夏に中越沖地震に見舞われました。市内はいたるところに地震被害の傷あとが見られました。しかし、豪雨被害の教訓を生かして、小規模の避難所を数多く作って地域コミュニティを維持を図ったり、病弱者のための福祉避難所を作ったことが教訓となりました。

関東地方の電力を供給している日本最大の原発、柏崎刈羽原発は予想以上の被災でした。恐れられた放射能被害に至らなかったのは、マグニチュード6・8という中規模地震だったという幸運によるものです。

それでも想定をはるかに超える地震の影響があり、原発本体の被災は今になっても見つかっています。東電は再開を目指しており、原発こそが環境にやさしいとの世論が作られようとしていますが、視察の結論は、地震の巣ともいえる場所に建設されていることもあり、廃炉を選択すべきではないかということです。

千葉市でテロを想定した訓練

「戦争のできる国」への足がかり

自衛隊や警察の車両がならんだ訓練現場

11月21日千葉市でテロを想定した訓練が行なわれました。「千葉市内のJR駅で同時爆破テロが発生、千葉港では不審船からサリンの撒かれた」との前提で自衛隊や警察・消防・海保・県・市などから1300名が参加、近隣の工場の従業員も動員されました。

この訓練の前提となる国民保護法(実質は戦前の国民総動員法)は日本を戦争の出来る国にするためのものであり、テロ対策と称した訓練は国民にいたずらに危機感をあおるものです。

この訓練について堂本知事は「テロは自然災害と違い、あらかじめ想定できない・・・」発言し政府の高官も「いつ起こるかわからない、万全の・・・」とのべています。

台風や地震などの自然災害は避けることは出来ませんがテロは人間が起こすものであり政治によって避けることが出来ます。

現在、福田自・公内閣はインド洋で行なっていた海上自衛隊のアメリカ軍などへの給油を復活しようとしています。

テロを避けるためには、自衛隊を海外に派遣し、危険を呼び寄せる政策をやめ憲法9条に基づく平和外交に徹すべきです。

テロ対策より福祉の充実を

千葉県では生活保護を打ち切られたり、健康保険証の取り上げられ、今日の生命が脅かされている県民がたくさんいます。

堂本知事がやるべきことは税金の無駄遣いとしかいえない戦争準備に手を貸すことでなく今、困っている県民の生活を守ることです

国鉄闘争勝利に向け さらに連帯深める

国鉄の1047名の不当な首切りから21年がすぎました。国労は高裁での判決を前に全力で闘っています。

新社会党は国労千葉地本と連帯し活動をしています。

10月16日、東京で行なわれた団結まつりで反失業共闘として出店し「長生村の朝採りトマト」と朝鮮総連の皆さんの「手作り本場のキムチ」を販売しました。

日比谷集会とデモに千葉からも参加

10月30日の千葉県集会には多くに党員とともに上野委員長が連帯の挨拶を行いました。

11月30日の日比谷集会には千葉県から300名が参加しました。

元気が出た 集会でした

国労組合員Aさん

千葉県集会も日比谷集会も会場を埋め尽くす参加者で「皆頑張っているな」と嬉しくなりました。

日比谷集会では暗くて人も多くてわかりにくかったですが、携帯で場所を知らせあいながら旧知の仲間と会ってきました。

デモで汗を流し、声を枯らし、その後の久しぶりにあった仲間との一杯は元気の源になりました。長かった21年ですが最後まで仲間を信じて闘います。

コーヒータイム

戦争と唱歌

誰もが口づさむ童謡、そこにも戦争の影響があることをご存知ですか、君津市にお住まいの池田さんに伺いました。

里の秋

一、静かな静かな 里の秋 お背戸に木の実の 落ちる夜は ああ母さんと ただ二人 栗の実煮てます いろりばた

二、明るい明るい 星の空 鳴き鳴き夜鴨の渡る夜は ああ父さんの あの笑顔 栗の実食べては 思い出す

三、さよならさよなら 椰子の島 お舟にゆられて 帰られる ああ父さんよ ご無事でと 今夜も母さんと 祈ります

戦争中はどう歌われたのでしょうか。

お山の杉の子

昔々のその昔、椎の木林のすぐそばに・・・で知られる「お山の杉の子」はよく知られていますがどうでしょうか。

すくすく伸びろよ みなのびろ スポーツわすれず 頑張って すべて立派な人になり 正しい生活ひとすじに 明るい 楽しい このお国 わが日本をつくりましょう 作りましょう

ふるさと

三番は「こころざしを果たして いつの日にか 帰らぬ・・・・」です。

三、きれいなきれいな 椰子の島 しっかり護ってくださいと ああ父さんの ご武運を 今夜もひとりで祈ります

四、大きく大きく なったなら 兵隊さんだよ うれしいな ねえ母さんよ ぼくだって 必ずお国を 護ります

4番は削られ、歌詞が変えられた3番も「既に戦死が明らかになった方の家族には耐えられないのでは」と歌われなくなったそうです。

戦争は、この歌をどうしたのか、考えてみてください。